

機 械 植 水 稻 肥 料

C D U 45 号 の 肥 効 に つ い て

～ 佐賀県の溝口日吉さんにきく ～

千 葉 寛

溝口さんを訪ねて

10月初旬のさわやかな秋晴れの或る日、県担の岩永君の車に同乗して、佐賀県の精農家溝口日吉さんを訪れた。豊かに稔る佐賀平野の稲穂をぬりようにして西に走ること約1時間、歌垣で知られる杵島山の西南麓、杵島郡有明町辺田の溝口さんのお宅につく。

すぐれた稲作技術をもつ人が多い佐賀県の中でも、ひとときわ研究心のおう盛な農家の1人である。水稲1.9ha、転作の30aにはブドウ(巨峰)、イチゴを作り、1部の低湿地を除いて休耕田はない。また、水稲の後も小麦・タマネギの作付けで、ほとんど休閑田もない。水稲を主体にした、典型的な水田複合経営の専業農家である。

応接室に通されて、とりたてのみずみずしいブドウ(巨峰)をいただきながら、奥さんを交えて稲作談義に花が咲く。9月はじめに、部落のグループといっしょに山形・秋田両県の稲作を視察した時の感想や、よきライバルである佐賀市のMさんの稲の出来ばえ、はては農業試験場の作柄にまで及んで、延々として時がたつのを忘れそうだ。頃合いを見て“稲を見せてもらいましょうか”と席を立て圃場に出る。

農道をはさんでつづく溝口さんの水田には、農業試験場の委託試験・県や農協の展示圃がずらりとならんでいる。まるで、試験場の出店の観がある。

多分、溝口さんの水稲作付面積の半分以上だろう。それを、いちいち生育調査され、10月19日には、収量調査が予定されている。もちろん、これだけの調査が、溝口さん1人で出来るわけがない。農業改良普及所や白石地区農協の技術者の方たちの、指導と協力があるからである。

ところで試験・展示圃以外の水稲には、すべてCDU45号が使われている。CDU45号は、機械植水稲の専用肥料として、昨秋新しく発売した化成肥料である。溝口さんは、昨年農業試験場の現地試験としてこの肥料を使い、今年が2年目である。

1年の経験で、2年目には全部切りかえるということは、一見冒険のようであるが、圃場を歩きながら“CDU45号のよさは、どんなところでしょう”の問いに、“肥効がゆるやかですから、機械植の稲(過繁茂になりやす

い)にむいています”という自信にみちた答えが返ってくる。新しい技術を、積極的に取入れる前向きの姿勢に頭が下る。

CDU45号を使った圃場のうち、早生の日本晴はすでに刈取りを終っている。残っている晩稲は立派な出来だ。

圃場を一巡したところで“今年の作柄はどうでしょうか。700kgはいけるとは思いますか”と、ひかえめであるが、確信にみちた言葉である。18号台風で少々稲姿がわるくなったようであるが、昨年を上廻ることは確かだろう。

CDU45号が、溝口さんの期待にこたえることができたことを、この目、この耳で確かめ、安心とよるこびがわいてきた。

話はつきないが、陽もかなり西に傾いてきた。長居はお仕事のじゃまになる。お礼を述べて帰路についた。

溝口さんの施肥設計 (kg/10a)

肥料名	元 肥	中間追肥	穂 肥
CDU45号 ①	28	24	—
CDU855 ②	—	—	25

52 年 度 の 作 柄 ③

㎡	1 穂 登 熟 玄 米 収 量	穂 数	モミ数	歩 合	千粒重	量
530本	66.5粒	87.4%	22.9g	705kg		

注① CDU45号 15-15-15 NのうちCDU-N 3%

② CDU855号 18-5-15-2 NのうちCDU-N 5%

③ 筆者の調査による。

CDU45号について

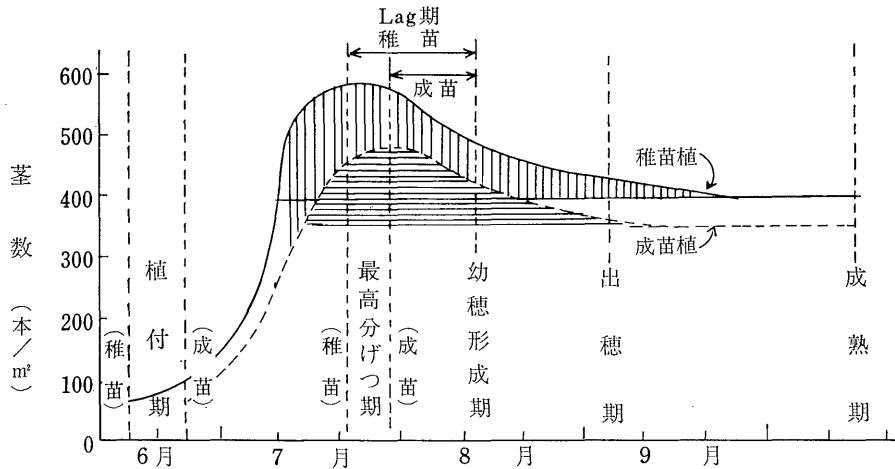
暖地の機械植水稲用肥料として、新しく発売したCDU45号の概要をご紹介します。

(1) **CDU45号のねらい** 暖地の機械植水稲は、従来の手植にくらべて、最高分け時期～幼穂形成期——この期間をlag(ラグ)期と呼んでいる——が長い。そのため、幼穂形成期の稲体のチッソの落込みが大きく、分けつは多いが、有効茎歩合が低い。また、短穂化し、1穂モミ数が少ないという欠点がある。

その対策として、lag期に「つなぎ肥」を施す農家が多くなっている。今までの稲作技術では、この時期の施肥は最もわるいとされている。事実、「つなぎ肥」は、施肥量や時期が適切でないと、却って減収を招く例が多

い。

稚苗植と成苗植水稻の分けつの推移



こうした機械植水稻の生育特性に対応して、「つなぎ肥」の繁雑さを解消するために、CDUチッソの緩効性を生かした肥料がCDU45号である。

CDU45号は、機械植水稻の分けつを適度に抑え、かつlag期のチッソの落込みを防ぎ、作柄を安定させることの出来る肥料である。

(2) 成分(%)

チッソ	リンサン	カリ
15	15	15
(チッソのうちCDUチッソ3%)		

(3) 施肥量

「つなぎ肥」が必要な水稻に対しては、従来の慣行施肥量に、「つなぎ肥」の量だけ増量して、元肥に施用するのが最も効果的である。普通の速効性肥料の増肥は、水稻の生育を過繁茂にするが、CDU45号はそのような心配はない。

「つなぎ肥」を必要としない水稻に対しては、慣行施肥量と同様に施用する。

(4) 施用法 従来の施用法と同様でよい。

元肥—穂肥の施肥体系では、CDU45号を元肥に施す。中間追肥の慣行がある場合は、元肥と中間追肥に、この肥料を施すか、中間追肥分を含めて元肥に施用してもよい。

(5) 肥効 昭和52年、佐賀県農業試験場土壌肥料研究室で行なわれた試験成績は次のとおりである。

CDU45号試験成績

(昭和52年佐賀県農業試験場)

1) 施肥設計

試験区名	元肥	中間追肥	穂肥	実肥
標準区	4.2	2.8	4.9	2.1
CDU化成元肥・45号区	7.0	—	7.0	—
CDU化成45号元肥区2割増区	8.8	—	7.0	—

注 CDU45号元肥2割増施肥区は、CDUチッソ量だけ上乘せ。

2) 生育調査成績

試験区名	7月12日		7月25日		10月13日		有効茎歩合
	草丈	茎数	草丈	茎数	草丈	穂長	
標準区	35.0cm	413本	58.8cm	696本	73.1cm	18.9cm	386本
CDU化成45号区	40.6	484	55.7	646	72.9	19.3	439
CDU化成45号2割増施肥区	39.1	490	55.3	650	71.9	19.5	473

3) 収量調査成績

試験区名	ワラ重	精モミ重	モミ/ワラ比	玄米重	比	千粒重	検査等級
標準区	84.8kg	77.3kg	0.85	63.4kg	100	23.5g	4等ノ中
CDU化成45号区	87.2	83.8	0.94	68.4	108	23.2	3等ノ下
CDU化成45号2割増施肥区	85.3	88.5	1.04	71.7	113	23.3	3等ノ下

11月号をお送りしますと書き出し
あとがき て、我ながら驚きました。本年も、あと1カ月を剩すのみになったからです。農業事情の急転に何とか皆様のお役に立ちたいと頑張っていますが、なかなか思うように行きませんが、来年はまた新しい計画でお目にかかりたいと考えております。
 (K生)